

## 研究課題名「局所進行膵癌に対する動脈合併切除の意義に関する観察研究」に関する情報公開

1. 研究の対象 1981年1月1日～2018年12月31日までに当院で膵切除術を受けられた方。

### 2. 研究目的・方法・研究期間

外科的切除は膵癌に対し根治が期待される唯一の治療法である。しかし、動脈浸潤を認める膵癌は総合的に高度進行例であり、主要動脈合併切除を伴う膵切除は例外的と考えられてきた。ところが、治癒切除不能な膵癌に対して FOLFIRINOX および GnP 療法が承認され、これら new-era chemo regimen とも言える術前治療の選択肢が加わったことで、今後動脈合併切除が必要な膵癌症例に対するアプローチの再考が必要と考えられる。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：

年齢、性別、病歴、膵疾患治療歴、手術日、手術前後の血液検査結果、腹部 CT 画像等

試料：なし

4. お問い合わせ先本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学  
TEL: 052-744-2245 FAX: 052-744 -2252

研究分担者：名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学・助教・園原史訓

研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学・教授・小寺泰弘